

資料3 名護市中心市街地まちづくりの方向性

目次

1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ
2. 周辺状況の報告
3. まちづくり組織の事例収集
4. 名護市中心市街地での動き

1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

1) 施設配置の前提条件の整理（現時点）

- 国道の移設を前提とする
- 都市計画範囲における公園・緑地の確保のため、対象敷地は県道71号線沿いの約6,300㎡とする
- 集客施設には、情報発信機能、飲食・物販機能、収益施設、公共サービス施設、防災機能を導入する
- 交通広場には、送迎バス、タクシー、自動車送迎用のロータリー、立体駐車場、二次交通の駐車施設・停留場所を導入する
- 交通モードの円滑な乗換え、歩行者の回遊を促すため、高速船乗り場（漁港）⇔交通ターミナル⇔集客施設⇔立体駐車場は、2階レベルの歩行者デッキで繋ぐ
- 敷地範囲と接道道路の条件等を踏まえ、敷地へのアクセスはまち側の名護1号線、名護37号線を基本とする

<対象敷地及び接道道路の条件>



路線名	幅員	道路区分 (計画交通量 [台/日])
国道58号線	30m	第3種第1級 (20,000~)
県道71号線	30m	第4種第2級 (4,000~10,000未満)
名護1号線(港線西側)	14m	第4種第3級 (500~4,000未満)
名護37号線	16m	第4種第3級 (500~4,000未満)

<動線計画>



送迎バス、タクシー：名護37号線よりアクセス
一般車両：名護37号線よりアクセス

1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

2) 必要機能及び規模

- 集客施設には、情報発信機能、飲食・物販機能、その他の収益機能、公共サービス機能、防災機能を導入する。
- 交通広場には、特定車両停留施設以外のバス（送迎バス、コミュニティバス等）、タクシー・自動車送迎用ロータリー、二次交通の駐車施設、立体駐車場（レンタカー駐車スペース含む）を導入する。

① 集客施設

機能		施設	面積(m ²)
情報発信機能	情報案内	総合情報案内コーナー	220
		レンタカー受付事務所	
		休憩・待合スペース	
	休憩	屋根付きデッキ	-
		トイレ・パウダーコーナー	180
		コインロッカー	5
眺望・シンボル	名護湾・夕陽が見えるデッキ	-	
飲食・物販機能	飲食	漁協直営食堂	550
		水産物直売	
		特産品販売	
		フードコート	
	物販	BBQスペース、ビアガーデン	190
		コンビニ	100
その他の収益施設	起業支援	自販機コーナー	5
		キッチンラボ	20
		コワーキングスペース・交流ラウンジ	150
公共サービス機能	-	アーバンデザインセンター	100
		観光案内所	70
	交流	イベントスペース	360
		多目的室	
防災機能	防災	展示スペース（ギャラリー）	-
		会議室等	-
		災害時の情報提供施設	-
		非常用発電機	50
その他	-	緊急物資保管場所	150
		歩行者通路等	1,930
合計			4,080

② 交通広場

※今後の設計により変更となる可能性有

施設			必要数	原単位(m ² /台)	想定面積(m ²)
バス	駐車施設	送迎バス	2	70	140
		コミュニティバス（EVバス）	6	70	420
	待機場所・充電施設				
	停留施設	送迎バス（乗車）	1	70	70
	送迎バス（降車）	1	70	70	
タクシー	操車場所	待機場所	5	30	150
		停留場所（車両を停留させる場所）	2	20	40
駐車施設	-	自動車送迎用	4	20	80
		カーシェア	2	30	60
		グリーンスローモビリティ、自動運転	1	70	70
停留施設	自動車送迎者用	2	20	40	
レンタカー	駐車施設	-	-	-	
	誘導車線（車両が走行する車路）	-	-	-	
	操車場所（車両が転回等をする場所）	-	-	-	
	乗降場・旅客通路	-	-	-	
	運行情報の案内施設	-	-	-	
小計					1,140
二次交通の駐車施設	-	駐輪場・レンタサイクル	50	1	50
		シェアサイクル	10	1.1	11
		電動キックボード	10	0.5	5
小計					66
立体駐車場	（フリンジパーキング、P&R駐車場）	323	30	9,690	建築面積：2,000
合計					6,000~6,300

1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

3) 整備イメージ

▼立体駐車場



豊見城市防災駐車場

出典：(仮称)豊見城市防災駐車場提案書(概略)

▼コミュニティバス車庫



名護市市民会館

▼ランドマークタワー



博多ポートタワー

出典：福岡市観光情報サイト ヨカナビ

※今後、収益性や民間事業者の事業意向等を踏まえ検討

〈物販施設〉 ※今後、収益性や民間事業者の事業意向等を踏まえ検討

▼水産物直売、特産品販売



出典：読谷村漁業協同組合HP

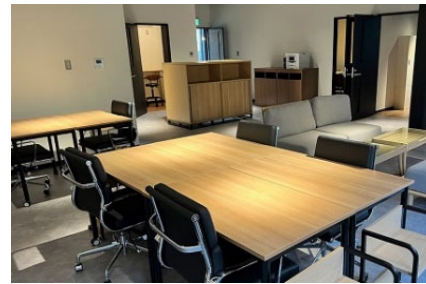
▼フードコート



道の駅「いとまん」

〈その他の民間収益施設〉 ※今後、収益性や民間事業者の事業意向等を踏まえ検討

▼コワーキングスペース・交流ラウンジ



出典：道の駅「やんばるパイナップルの丘安波」HP

〈公共サービス機能〉

▼アーバンデザインセンター



出典：UDCイニシアティブHP (UDC松山)

▼観光案内所



出典：道の駅「ぎのぎ」HP

▼展示スペース

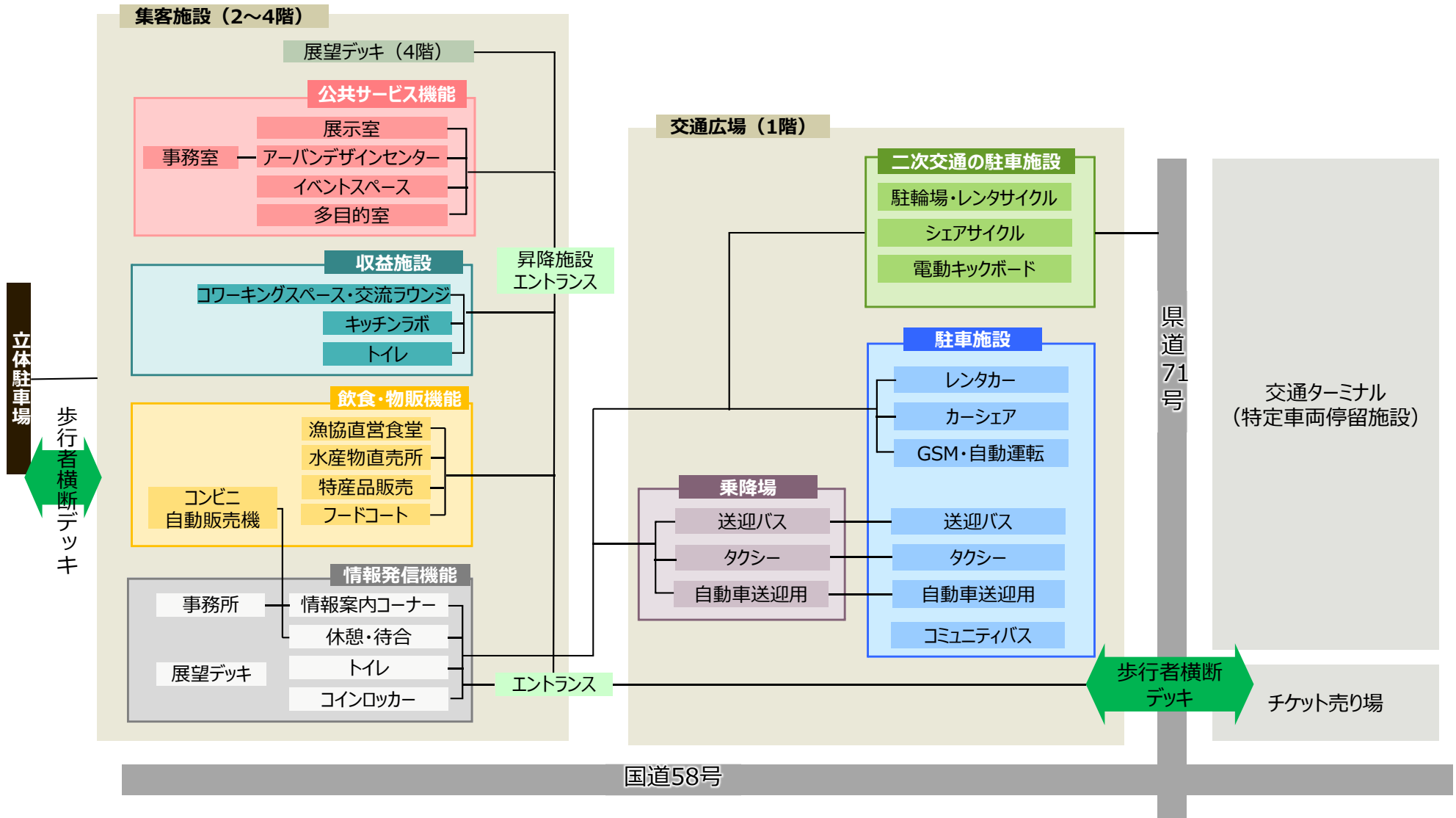


出典：道の駅「ぎのぎ」HP

1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

4) 平常時の機能図

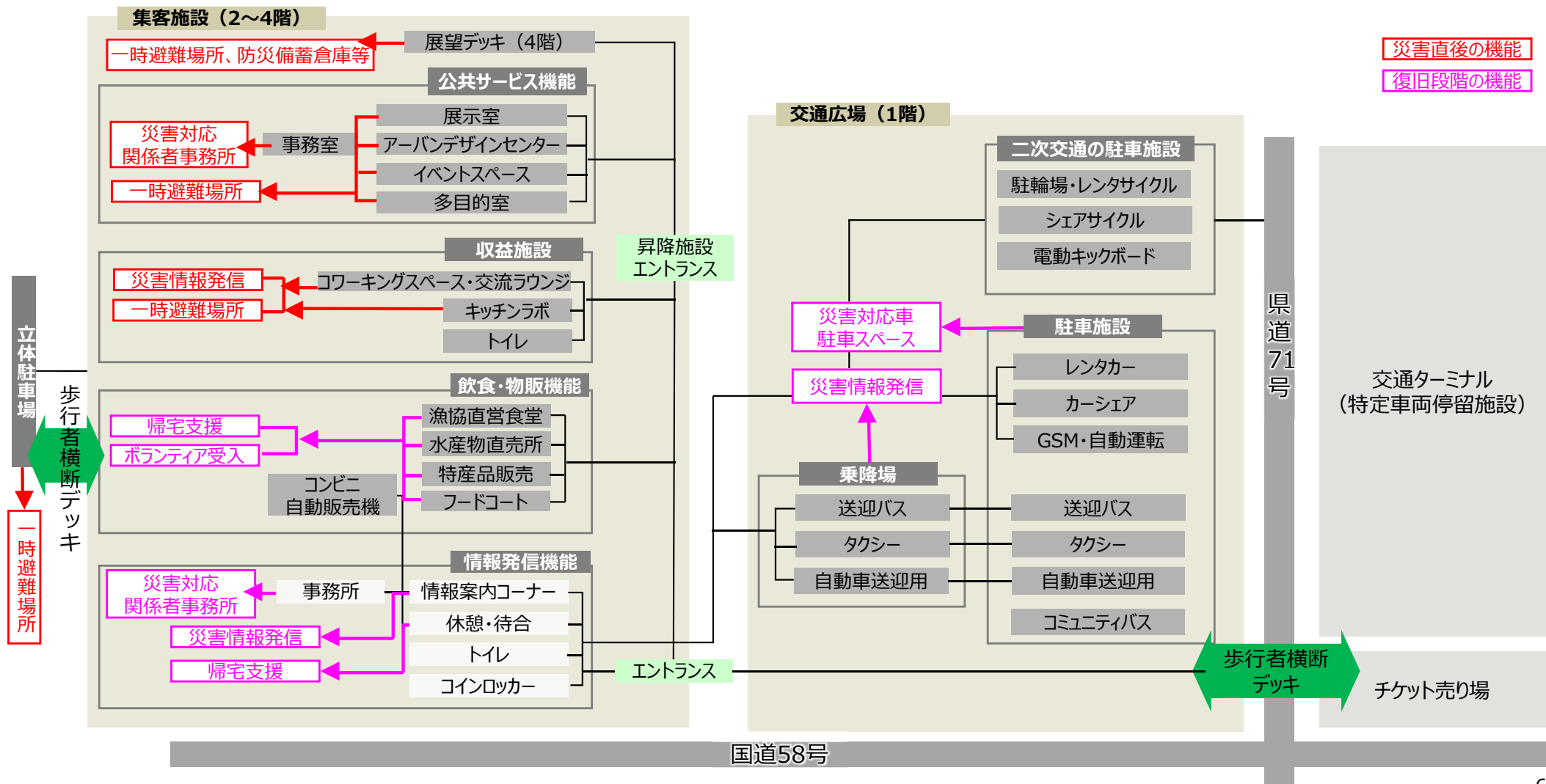
- 交通ターミナル（特定車両停留施設）との接続は、歩行者横断デッキで行い、2階の情報発信機能へつなぐ。
- 2階の情報発信機能を起点に、1階の交通広場、2～4階の他の機能へとアクセスするゾーニングとする。



1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

5) 災害時の機能図

- 発災直後は、集客施設4階を中心に一時避難場所、防災備蓄、非常用インフラ、災害情報発信等を配置する。
- 復旧段階は、1階の交通広場にて災害対応車の駐車スペースを確保し、2、3階の集客施設で災害情報発信やボランティアの受入機能の確保、帰宅支援を行う。



1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

6) 施設配置の検討

施設配置の考え方

- 交通広場の入口部（まち側）は交差点化し、市道への交通影響低減を図る
- 高速バス・高速船との乗換えを踏まえ、交通広場は県道71号側に整備する
- 駐輪場、その他のモビリティ駐車施設は県道71号沿いに配置し、交差点混雑を回避するため県道側に出入口を設置する
- 集客施設2階は、主に観光客の利用を想定し、情報発信機能（休憩・待合空間、レンタカー受付）と飲食・物販施設を配置し、3階は、主に市民、就業者の利用を想定し、公共サービス機能と収益施設を配置する



※配置案はゾーニングレベルのイメージであり、軌跡の確認はできていません。
※想定の配置であり、今後の検討により変わる可能性があります。

1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

7) 地域防災計画における防災課題の整理

- 名護市の立地特性からみた防災課題を踏まえ、総合交通ターミナルに求められる役割を整理した。
- 総合交通ターミナルでは、垂直避難による高潮・津波対策の強化、防災備蓄や一時避難場所等の確保による防災環境の整備充実、集客施設を活用した情報提供により、多様な利用者への避難誘導體制の整備が必要である。

<名護市における防災課題と総合交通ターミナルの役割（地域防災計画（R5.3）より一部抜粋）>

立地特性		防災課題	総合交通ターミナルの役割
社会条件	自然条件 気象	<ul style="list-style-type: none"> ◆大規模地震や津波対策の強化に取り組む必要がある。 	⇒ 垂直避難により高潮、津波対策の強化 を図る
	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ◆老朽建築物の建替えや狭隘道路の改良オープンスペースの確保等、市街地の防災環境の整備充実を図る必要がある ◆安全な避難路、避難場所の確保を図る必要がある。 	⇒緑地等のオープンスペースの確保、集客施設での 防災備蓄、一時避難場所の確保により、防災環境の整備充実 を図る ⇒県道71号（伊佐川線）上の歩行者デッキを活用し、 安全な避難経路の確保 を図る
	人口の概況	<ul style="list-style-type: none"> ◆共助による地域防災力の向上や自主防災活動の活性化を推進する必要がある。 ◆高齢者等の要配慮者に対する避難支援体制の強化を図る必要がある。 	⇒施設内で バリアフリーに配慮した避難経路確保 を図る
	昼夜間人口	<ul style="list-style-type: none"> ◆帰宅困難者等への情報提供や避難誘導、安全な避難場所の確保等の対策を検討しておく必要がある。 	⇒発災直後の 情報提供、避難誘導を行い多様な利用者への避難誘導體制を整備 する
	観光入込客数	<ul style="list-style-type: none"> ◆災害時における観光客等の避難誘導體制の整備を図る必要がある。 	

1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

8) 地域防災計画における避難施設の考え方

- 名護市地域防災計画において、津波避難施設の要件として『津波の想定浸水深相当階の2階以上』が必要と定められており、漁港エリア周辺では、名護市産業支援センター及び県営東江高層住宅が津波避難施設として指定されている。

<津波避難施設等の要件>

津波避難施設等の要件

	内容
安全性	<ul style="list-style-type: none"> RC又はSRC構造であること。原則として、津波の想定浸水深相当階の2階以上（例：想定される浸水が1階の場合は3階以上、2階の場合は4階以上） 海岸に直接面していないこと 耐震性が確保（昭和56年以降の耐震基準又は耐震補強済み）されていること 避難路等に面していること
機能性	<ul style="list-style-type: none"> 進入口への円滑な誘導が可能であること 夜間照明や情報機器が備わっていることが望ましい。 外部から避難が可能な階段があることが望ましい。 管理者等が不在の夜間、休日等に立ち入れることが望ましい。

資料：沖縄県津波避難計画策定指針

津波避難施設一覧

名称	所在地	避難場所
ベストウェスタンホテル 沖縄幸喜ビーチ	名護市字幸喜 117 番地	11 階 ホール
沖縄サンコーストホテル	名護市字幸喜 108 番地	11 階 スカイラウンジ、ラウンジ
喜瀬ビーチパレス	名護市字喜瀬 115 番地 2	10 階 バンケットルーム
ホテルゆがふいんおきなわ	名護市字宮里 453 番地 1	本館 8 階 会議室
名護市産業支援センター	名護市大中一丁目 19 番 24 号	7 階 リフレッシュルーム、ガーデンテラス
県営東江高層住宅	名護市東江五丁目 1 番 1 号	13 階 廊下、エレベーターホール
ホテルルートイン名護	名護市東江五丁目 11 番 3 号	9 階 廊下等共有部分、大浴場脱衣所
オリオンビール名護工場	名護市東江二丁目 2 番 1 号	事務管理棟 屋上
スーパーホテル沖縄・名護	名護市字宮里 1018 番地	9 階共有スペース
ホテルデルフィーノ名護	名護市大南一丁目 5 番 14 号	7 階共有スペース

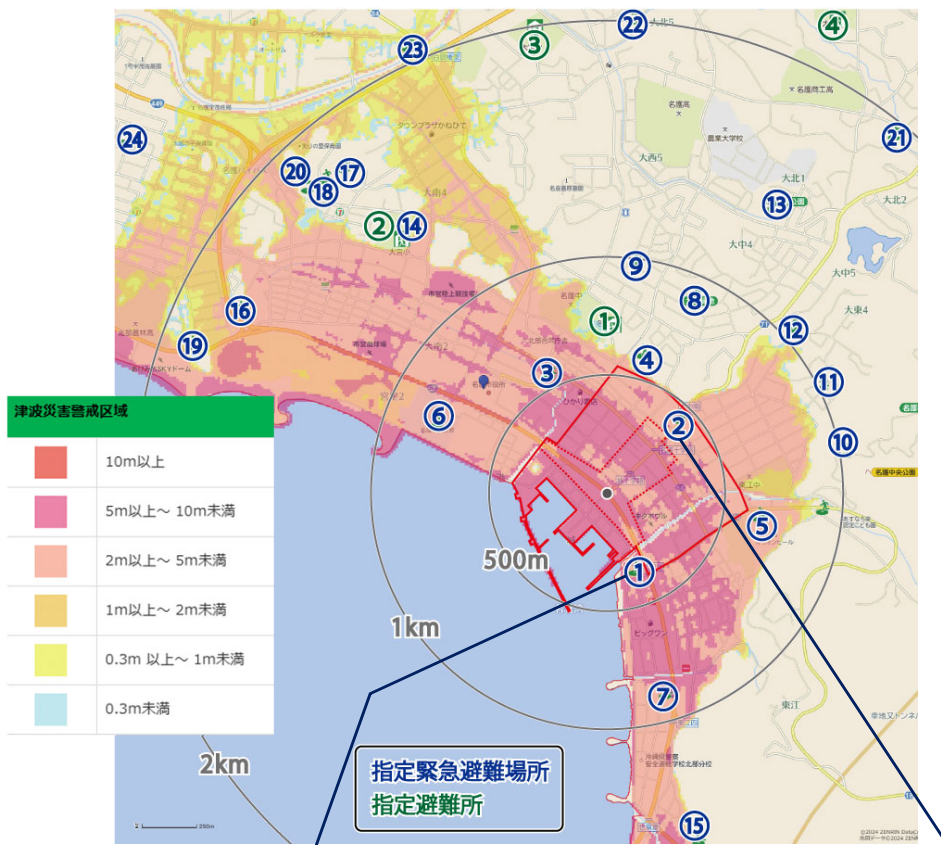


1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

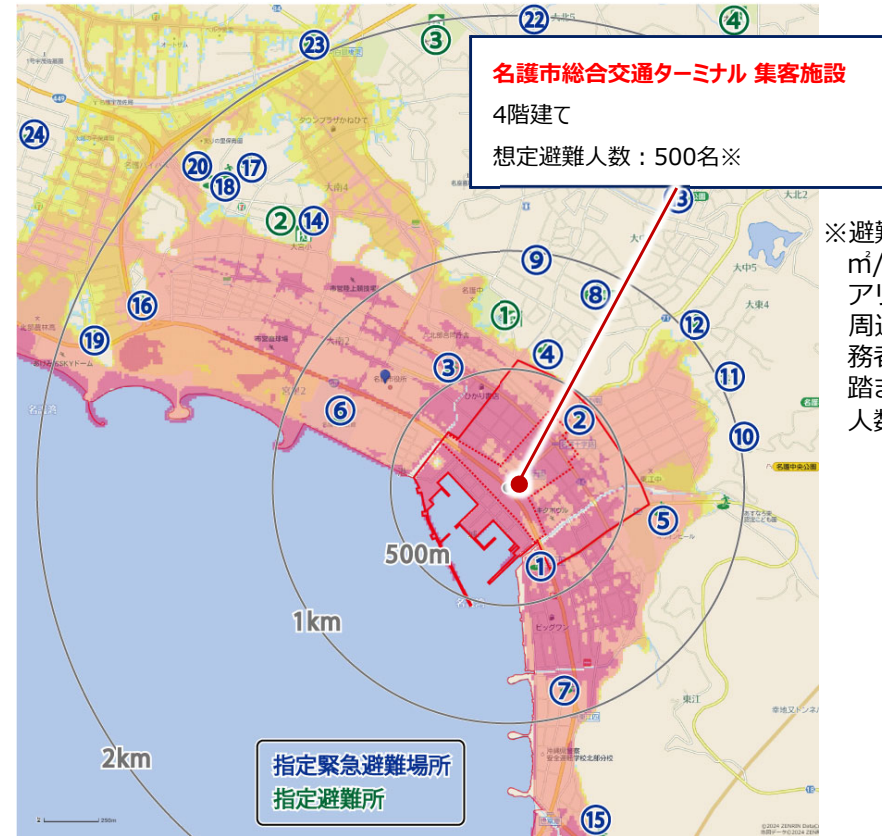
9) 避難人数の想定

- 名護漁港周辺は、津波浸水想定最大5～10mであり、周辺の指定緊急避難場所は2箇所である。
- 県営東江高層住宅の収容人数は156名、名護市産業支援センターの収容人数は324名である。総合交通ターミナル（集客施設）は、約1,000㎡の展望デッキを設けると、災害時の収容可能人数は約500名※となる。

現状の避難施設の位置



総合交通ターミナルを含めた避難施設の配置



※避難スペースを2㎡/人と仮定（ヒアリングより）
周辺の居住者、勤務者、来訪者等を踏まえた想定避難人数は今後要検討

① 県営東江高層住宅
13階建て、SRC造
収容人数：156名
出典：沖縄県庁HP



② 名護市産業支援センター
7階建て、RC造（一部PC造）
収容人数：324名
出典：名護市商工会HP



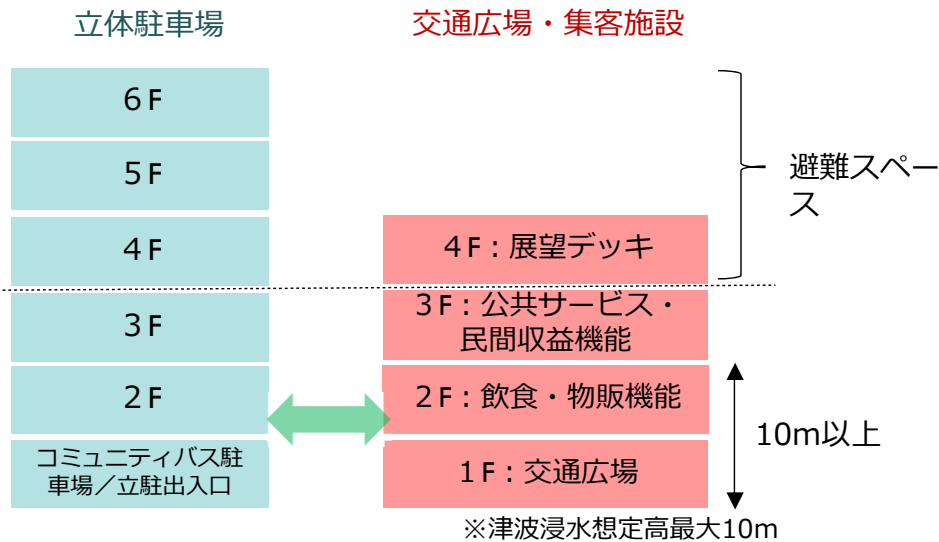
津波避難施設等の要件から、現時点では避難施設として位置づけられるかは明確ではないが、漁港付近の避難をカバーする施設としては有効（漁港付近の従事者200人程度＋海上交通・ターミナル利用者等）

1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

10) 垂直避難の考え方

- 総合交通ターミナルでは、ターミナル利用者及び中心市街地利用者のうち、総合交通ターミナル寄りにいる人が迅速かつ安全に避難できる一時避難（垂直避難）機能を設ける。
- 集客施設側では、垂直避難を想定した一時避難場所（集客施設4階及び立体駐車場の上層部）を確保する。

<交通広場・集客施設の断面イメージ>

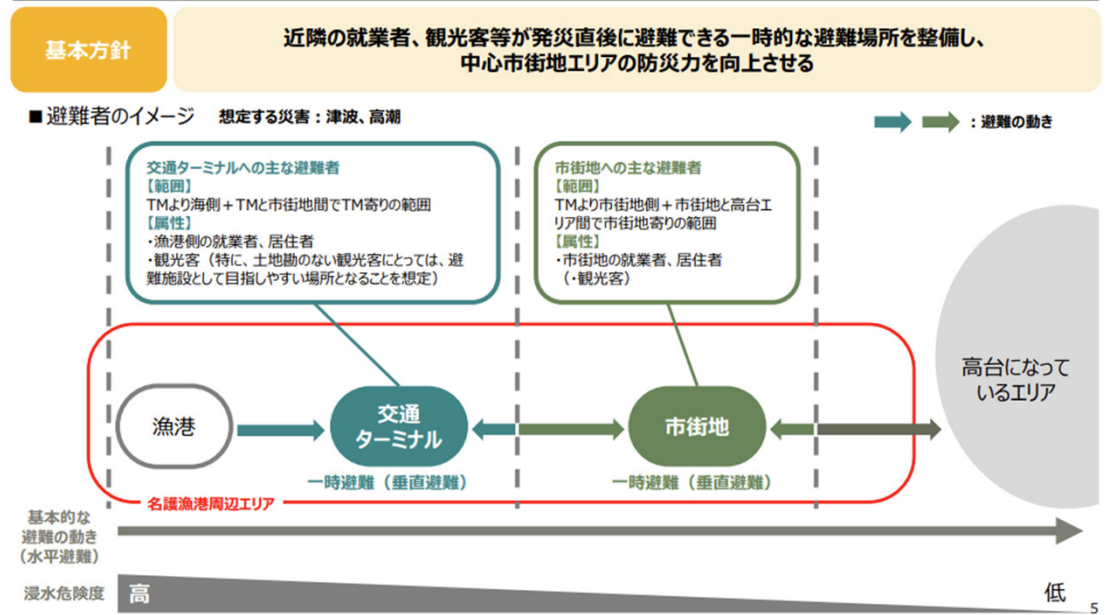


▼平常時と災害時の機能想定（集客施設）

	平常時	災害時
4F	展望台 等	一時避難場所、災害情報発信、防災備蓄倉庫
3F	住民が利用する公共サービス機能、民間収益施設	(水が引いた後) 一時避難場所、会議室、災害情報発信 等
2F	住民・観光客が利用する飲食・物販機能、情報発信機能等	(水が引いた後) ボランティア受入、帰宅支援等
1F	特定車両停留施設以外の車両が利用する交通広場	(水が引いた後) 災害対応車の駐車スペース

<中心市街地エリアにおける防災機能の考え方>

- 中心市街地エリアは浸水の危険度が高いため、長期的かつ広域的な防災拠点とするのではなく、近隣の就業者や観光客等の「一時的な避難場所」として整備することを想定する。
- 高台を目指す避難経路を基本としつつ、交通ターミナル（以下、TM）、市街地に中継地点となる一時避難機能を整備する。



第3回 名護市中心市街地まちづくり推進協議会資料より

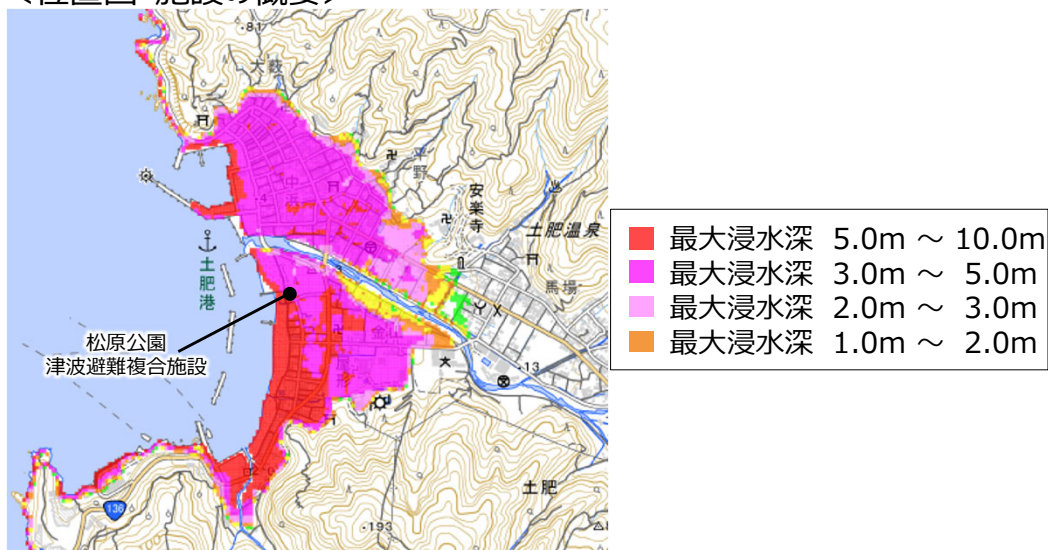
引き続き、津波避難施設として位置づけられるか、立体駐車場を含めた総合交通ターミナルでの避難人数、市街地部との避難の役割分担を検討していく

1. 集客施設、防災機能等の具体イメージ

■事例紹介（静岡県伊豆市 松原公園津波避難複合施設「テラッセオレンジトイ」）

- 平時はレストランや売店を有する観光施設、災害時は海水浴客、公園利用者、市民が安全に避難できる津波避難タワーとしての利用を想定している複合施設である。
- 駿河湾に面した立地は、名護市街地とも類似している。

<位置図・施設の概要>



出典：静岡県GIS「第4次地震被害想定津波浸水（レベル2重合せ図）」

<建物の様子>



構造等	<ul style="list-style-type: none"> •鉄骨造、地上4階建て（地上18.8m） •避難スペースは3階以上（海拔14m以上） ※津波浸水想定高10m+余裕高4m
機能等	避難面積約600㎡ 想定避難者約1,200人 【災害時】 一時避難スペース、防災備蓄庫等 【平常時】 地域交流の場、物販/飲食、観光情報等の発信
商業施設	1F：地場産品直売所、カフェ 2F：フリースペース 3F：レストラン 4F（屋上）：BBQレストラン

2. 周辺状況の報告

1) ジャングリアの開業（7/25（金））

- 各種交通対策等により、開園の影響による著しい渋滞は発生していない。
 - ①バス・フェリーの利用促進 ⇒各地から乗り換えなしで直行できる「ジャングリアエクスプレス」を運行
 - ②駐車場の分散配置とスマート化対応 ⇒敷地内のジャングリア沖縄パークングは予約制
※イオン名護店屋上パークングは9月末に定型パークングとしての利用を休止
 - ③車両アクセスルートの分散設定
 - ④周辺道路・交差点の改良促進 等



JUNGLIAホームページ
<https://junglia.jp/>

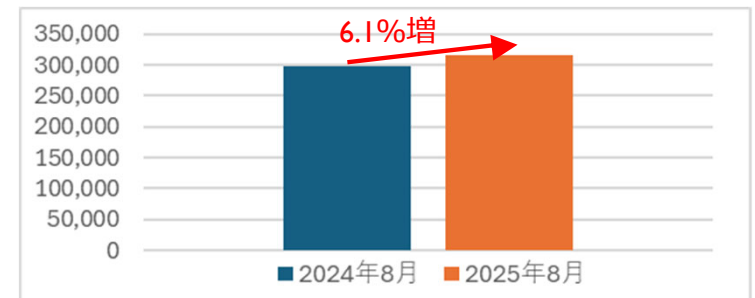
<直行バスでのアクセス方法>

方面	乗り場
那覇空港、那覇市内	那覇空港/県庁前/国際通り入口
名護市内	名護漁港/名護市役所
北谷	北谷ゲートウェイ
オフィシャルホテル	オリエンタルホテル沖縄リゾート&スパ / オリオンホテル モトブリゾート&スパ / カヌチャリゾート
美ら海水族館	記念公園前

- 高速船を利用し、名護漁港からの直行便あり（名護市観光情報センター10:05発）
- 名護市役所バス停から直行便あり（6便/日）

<中心市街地への影響（速報）>

・ビッグデータで見ると、2024年8月と2025年8月の比較では、中心市街地の来訪者数はほとんどのエリアで増加している（全体で約6%増）。



エリア	来訪者数 [人]		前年比
	2024年8月	2025年8月	
城1丁目	77,255	79,767	3.3%
城2丁目	52,428	56,513	7.8%
城3丁目	21,007	28,832	37.2%
名護漁港エリア	4,999	5,487	9.8%
大中1丁目	36,927	37,364	1.2%
大中2丁目	24,793	32,354	30.5%
大東1丁目	50,909	45,652	-10.3%
大東2丁目	29,753	30,308	1.9%
エリア全体	298,071	316,277	6.1%

沖縄観光地域カルテによる来訪者数 出典：<https://areakarte.ocvb.or.jp/karte>

※各町丁目来訪者の重複も含む

※月次の来訪者数は、1日単位の来訪者数を1か月分足し上げた「延べ人数」を表示

2. 周辺状況の報告

2) AI オンデマンド交通 mobi

- 沖縄県名護エリアで AI オンデマンド交通“mobi”が運行開始

サービス提供エリア	名護市内一部エリア
サービス提供期間	2025年7月10日(木)から2026年2月28日(月)まで
サービス提供時間	午前9時から午後10時まで
車両	8名乗車可の車両
料金	1回乗車毎に、大人(中学生以上)500円、子ども(小学生)250円 ※幼児(未就学児)は、同伴者1名につき2名まで無料
利用方法	アプリまたは電話(電話受付時間:午前9時から午後7時)
乗降箇所	観光施設、公共施設、商業施設、病院等247箇所 (7月10日時点) ※乗降箇所については、ご利用状況を鑑みて適宜追加、削除を行う。



沖縄セルラー (株) https://okinawa-cellular.jp/common/uploads/news_20250709.pdf

名護エリア版mobiプロジェクト実証運行

みんなで使おう

ちょっと、そこまで地域の乗り物

mobi
Produced by 沖縄セルラー

通院に
子供の送り迎えに
お買い物に

ここから乗る
ここへ行く

mobiとは?

mobi(モビ)は徒歩や自転車、マイカーのちょい乗り代わる乗合型移動サービスです。

mobiご利用時の流れ \ 1回だけでもお気軽にどうぞ!! /

- 1 アプリダウンロード
無料で会員登録
- 2 呼ぶ
電話 or アプリ
アプリで簡単に呼べる
- 3 指定した場所に車がお迎え・移動
名前を伝えて乗車
- 4 降車時に支払い
【支払い方法】現金または、事前登録のクレジットカード決済

料金

ワンタイムプラン

1回のご利用ごとに料金を支払いmobiを利用
大人500円/回 子ども250円/回

大人:中学生以上 / 子ども:小学生以下 / 幼児:未就学児

幼児(0歳未満)については、大人1名(または子ども1名)につき2名まで無料で乗車いただくことが可能です。幼児3名からは子ども料金が必要になります。混雑時にはお席上にお乗せいただくご協力をお願いいたします。

利用者数は開始から徐々に増加しており、9月は約1,200人が利用(1日最大で55人が利用)

2. 周辺状況の報告

3) 21世紀の森公園の整備状況

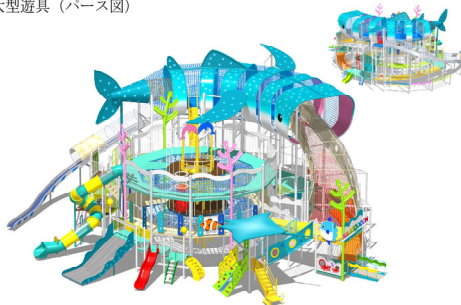
- 21世紀の森公園では、官民連携事業を推進中。飲食や物販、イベント、マリナクティビティ等の施設を整備中で、2026年3月からの順次供用開始予定。

事業名	21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公募設置管理制度（Park-PFI）を活用して、21世紀の森公園に新しいサービスを提供するとともに園内施設整備を実施することで、名護湾沿岸基本計画で掲げられた「誰もが“健幸”になれる海と陸のスポーツ&レクリエーション拠点」を実現する 地元住民の日常的な公園利用と、観光客の誘致を図り、当該エリアを核とした地域活性化を図る



大型遊具（バース図）

- 市民会館側に大型遊具も整備中。
- 年度末に整備完了予定



*バースはイメージです。色の仕上がり等は多少実物と異なります。

※名称募集は現在は終了しています

名護市・21世紀の森公園における Park-PFI 事業

**21世紀の森公園内
新規整備施設**

名称募集のお知らせ

2026年3月から順次 OPEN!!

募集期間
2025 9/1 (mon) ~ 2025 9/30 (tue)

A 森の棟
(飲食店・物販店)

B 海の棟①
(飲食店・マリナクティビティ)

C 海の棟②
(カフェ)

D 海の棟③
(レストラン)

E 丘の棟
(宴会場・ウェディング・地域イベント)

今回募集するのは上記5施設の総称です。

事業概要

21世紀の森公園内に、カフェやレストラン、マリナクティビティなどの複合施設が誕生します。この新しい施設に、親しみやすい名称を募集します。
名護の皆さま、奮ってご応募ください！

事業概要 (名護市HP)

名称のご応募はこちら→

お問い合わせ

株式会社 ゆがふホールディングス

E-mail : koubo@yugaf-hd.com

3. まちづくり組織の事例収集/アーバンデザインセンター

地区名（団体名）	概要
①千葉県柏市柏の葉地区 （UDCK/柏の葉アーバンデザインセンター）	<ul style="list-style-type: none"> 産学官が連携して最先端のまちづくりを実践することを目的として設立 エリアマネジメント活動や景観整備機構としてデザイン調整を実施
②埼玉県さいたま市美園地区 （UDCMi/アーバンデザインセンターみその）	<ul style="list-style-type: none"> 新市街地であるみそのウイングシティのまちづくり推進を主目的として設立 まちのデザインやメンテナンス、IoT・AI等を活用したモビリティ導入等を実施
③福岡県福岡市アイランドシティ地区 （UDCIC/アイランドシティ・アーバンデザインセンター）	<ul style="list-style-type: none"> 地域ブランド化のために、交流イベント等まちづくり活動や情報発信・プロモーション等を実施

項目	内容
UDC設立の背景・意義	<ul style="list-style-type: none"> 将来像やコンセプト実現、地域価値の向上が主たる背景である。 【UDCK】次世代環境先進都市【UDCMi】スマートシティ【UDCIC】まちのブランディング ⇒空間デザイン調整も重視されているが、上位目標実現のための手段である。 ⇒関係者で将来像（大目標）を共有しているため、活動の継続性・発展性も高いと考えられる。
UDCの組織形態	<ul style="list-style-type: none"> 組織であったり、プラットフォーム（場）であったり事例によって異なる。 【UDCK】任意法人【UDCMi】場（建物の名称）であり、事務局は別途設立した法人格を有する組織が担う 【UDCIC】場（建物の名称）であり、地域の建設コンサルタント会社に運営を委託
組織体制の発展プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 地域固有の事情が影響し、事例によって異なる。 【UDCK】任意法人で始まり、その後シンクタンク機能（大学主導）とエリアマネジメント機能（民間主導）の法人組織を設立 【UDCMi】UDC運営業務以外の各種事業運営を担う法人組織が設立された後、まちづくりとスマートシティの関係者の協議・調整の場として設置 【UDCIC】大学出資の企業に運営が委託されていたが（行政主導）、その後、民間主導となり、地域の建設コンサルタント会社が運営を受託
自治体の役割	<ul style="list-style-type: none"> 自治体の関与の方法は、事例によって異なるが、スタート時は自治体も支援している。 【UDCK】公社を通じた支援（その後、市の支援に移行） 【UDCMi】市の支援 【UDCIC】市の支援は概ね土地の分譲が完了するまで（以降は民間主導） ※UDCK、UDCMiにおいても、将来的には民間主体の運営が想定されている。
民間事業者の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 3つの事例ともステークホルダーとなる民間事業者がUDCに関与し、資金的な負担も行っている。 【UDCK】大手デベロッパー 【UDCMi】大規模商業事業者 【UDCIC】大手住宅メーカー
大学の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 地区内の大学立地の有無に関わらず大学は関与しているが、関与の度合いは事例によって異なる。 【UDCK】大学が立地し、UDCの運営にも深く関与 【UDCMi】まちづくりに関しては市内の建設・建築系の学部が関与 【UDCIC】センター長が大学の先生であり、地域活動に学生が参加

名護市中心市街地でのまちづくり組織については、組織設立の目的・役割を明確にし、地域の取組や事情に合わせた組織やプラットフォームを検討していく必要がある。

4. 名護市中心市街地での動き

- ・名護市中心市街地では、**名護十字路商店連合会が中心**となり、名護市事業の**理解促進**や持続可能なまちづくりを進めるための基盤となる**多様な住民意見の集約**、さらには**地域活動の方向性を明確**にし、**実現に向けた取組の推進**、**自治体等への提言**を目的とした住民会議を今年度より開催する。

①住民会議の発足

【体制（案）】

主催	城区 大東区 大中区 港区 東江区 各区長 及び 名護十字路商店連合会
協力	(一社) 全国空き家アドバイザー協議会 沖縄県名護支部
事務局	名護十字路商店連合会

【開催予定】

※以後、複数回開催予定

日時	内容
第1回 (11月予定)	勉強会① <ul style="list-style-type: none"> ・名護市中心市街地まちづくり計画の素案と進捗 ・まちづくり住民会議とは？ <ul style="list-style-type: none"> -名護市中心市街地のまちづくりにおける住民会議の必要性 -「まちは誰のもの？住民・地権者・事業主・行政それぞれの視点から考える」 -本住民会議の運営について

【会議参加予定者】

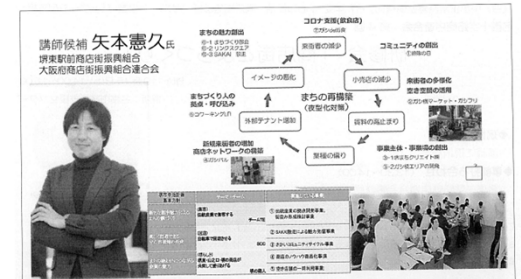
- ・一般住民（地域に居住する全世代）
- ・事業者、商工観光団体
- ・学校、教育関係者
- ・社会福祉関係者
- ・専門家（都市計画、地域福祉等）
- ・自治体職員 など

②P型支援事業の取組（R7中心市街地・商店街等診断・サポート事業）

日時	内容
10月15日（水） 14:00～16:00	研修会「商店街とまちづくり」 講師：矢本 憲久氏 (堺東駅前商店街振興組合/大阪府商店街振興組合連合会)



研修会の開催状況



【堺東駅前商店街のまちづくり事例】

- ・商店街清掃活動（月1回1h/メインは清掃後のモーニング交流会）
- ・ガシバル（堺東まちなか逸品バル）
- ・ガシ横マーケット→ガシフリ
- ・堺東 壁プロジェクト
- ・コミュニティ界限（コワーキングスペース）
- ・自転車マナーアップ
- ・まちづくり部会と世話役会
- ・堺東フードフェス、沙界妖怪まつり など

矢本氏へのリクエスト

- ・商店街活性化とまちづくり、その中身・両立がよく分からない
- ・ヒトモカネも足りない、役員に負担が集中しがち
- ・事業者の巻き込み方、探るべきスタンスがよく分からない
- ・学生や住民との付き合い方、巻き込み方は？
- ・役所との接し方、支援や連携の引き出し方は？

↓
ご話ください!!

- ・どのような考え方で
- ・どのようなことをやってこられたのか

4. 名護市中心市街地での動き

③ ジャングリア沖縄との連携

- ・名護十字路商店連合会とジャパンエンターテイメント社の交流企画として、ジャングリア沖縄で働く従業員や地域住民の交流イベント「JEナイト」を実施。

イベント名	JEナイト
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ジャパンエンターテイメント（以下JE社）従業員に対し、名護十字路商店街の対象店舗にて使用できる専用クーポン券を発行。（クーポン券使用期限：2025年10月31日） ・クーポン券を使ってJE社従業員及び家族・関係者へと名護まちを楽しんでいただき、商店街のファンになっていただくことを目標に、JE社×名護十字路商店連合会の共同開催イベントを実施。
実施期間	<p>令和7年9月16日(火)～10月31日(金)</p> <p>※9月16日～18日の3日間のみセレモニーを開催</p> <p>▼イベントプログラム（案）</p> <p>19:30～19:40 開会挨拶及びイベント趣旨の説明</p> <p>19:45～20:15 エイサー演舞</p> <p>20:20～20:25 JE社従業員お見送り・閉会</p>
参加事業者	<p>連合会加盟店、未加盟店、名護社交飲食業組合員</p> <p>※未加盟店、名護社交飲食業組合員は有償</p>

【セレモニーイベントの様子】



【名護十字路商店連合会へのヒアリング結果】

- ・セレモニーイベントは、大変盛り上がり、ジャングリア沖縄からは是非継続していきたいとの意向あり。
- ・一方で、ジャングリア沖縄への来訪者が名護市街地へ立ち寄っているかどうかの実感については、地域としての実感はない状況が続いており、まずは従業員など定住者の市街地への回遊を促進させたい。

4. 名護市中心市街地での動き/名桜大学の取組

- ・名桜大学では、国際観光学部の各ゼミやサークル活動にて、名護市中心市街地に対して商工会や民間事業者と協働した取組を実施。学部横断のプロジェクト学習において、地域課題の解決と地域資源の活用に取り組んでいる。

【名桜大学RESAS研究会の活動状況】

- ・サークル活動として、学生が主体的にテーマを設定し、沖縄RESASチャレンジ杯などを目指して、研究している。



コーヒーで名護市を元気にする！
名桜大学RESAS研究会名護市コーヒー事業チーム一同
顧問 草野泰宏准教授（右端）とともに

出典：名桜大学HP（キャンパスライフより）

【名桜大学RESAS研究会の研究テーマ】

- ・中山コーヒー園と協働した県産コーヒーのマーケット拡大
- ・名護市街地の交通課題検討
- ・ハジチを活用したタトゥーツーリズムのコンテンツ造成 など

【名桜大学のプロジェクト学習】

- ・学生自らが地域社会の課題・問題を解決していく過程で、自らの社会人基礎力に必要な主体性、創造性、計画性を獲得することを目的とした、課題解決型の実践的授業「プロジェクト学習」を2017年度より開講している。
- ・授業では特に、北部の12町村を中心に地域課題の解決と地域資源の活用に焦点を当て、学生たちの地域貢献と自己成長を促している。

【事例】名桜大学とあなぶきグループが共同で地域課題の解決方法を探求する産学連携プロジェクト学習を実施

プロジェクト学習全体日程及び概要

No.	回数	日付	時間	タイトル・内容概要
1	第1～3回	9月26日(金)	13:00～18:00	第1回：オリエンテーション（授業概要） あなぶきグループの事業概要や沖縄における事業の説明 第2回：新規事業の考え方やあなぶきの新規事業、 地域課題×新規事業の事例紹介 第3回：地域課題・マーケティング
2	第4～5回	10月25日(十)	11:00～16:00	第4～5回：民泊施設見学・見学してのディスカッション ※高松メンバーはZoom参加も可
3	第6～11回	11月22日(土) ～23日(日)	15:00～翌12:00	第6～9回：概要説明、「観光・民泊」アイデアソン（※民泊合宿1泊2日） 第10/11回：「観光・民泊」アイデアソンの発表 + 事業計画の作成について説明
4	第12～15回	12月13日(土)	9:00～16:00	第12/13回：アイデアソンで発表された案についての事業計画作成・支援 第14回：事業計画発表 第15回：講義全体の振り返り

出典：名桜大学HP
（2025年10月7日/最新情報）

地域や名桜大学の取組を踏まえ、中心市街地の活性化を目指す。また、これらの取組状況をまちづくり組織のあり方の参考とし、検討を進める